

福島県広野町

東日本大震災の記録〔Ⅰ〕

『ふる里

“幸せな帰町・復興”への道のり』

平成27年3月11日

～東北に春を告げるまち～

福島県双葉郡広野町





発刊に寄せて

## ～避難から“幸せな帰町・復興”への歩み～



東日本大震災によって今日に至るまで尊い命をなくされた皆さまのご冥福をお祈り申し上げますとともに現在において避難生活を余儀なくされている皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

このたび、平成26年3月までの3年間をまとめた「福島県広野町東日本大震災の記録Ⅰ」を発刊する運びとなりました。編集にご尽力を賜りました「広野町東日本大震災の記録編集委員会」の鈴木正範委員長をはじめ、委員の皆さまならびに貴重な資料や証言を頂いた皆さまに厚く御礼申し上げます。

平成23年3月11日、広野町を襲った震度6弱の激しい揺れと推定9メートルの巨大津波により、多くの家屋が倒壊、流失し、道路や上下水道などのライフラインも壊滅的な被害を受けました。原子力発電所の事故による大混乱のなかでふる里・広野町をあとにして、お互いに支え合い、皆さまから温かいご支援を頂き避難所での生活を乗り越え、今、私たちは“幸せな帰町・復興”への道のりの途にあります。汚染水の問題が収束せず廃炉までには長い期間が見込まれるなか、将来にわたり震災の記憶を風化させることなく確かな歩みを進めるためには、これまでの歩みを正しく捉え、世の中に伝え、後世に語り継いでいくことが重要だと考えます。4年間を振り返れば悲しく苦しい思いが去来しますが、全国の皆さまから頂戴したご支援に幾度となく胸が熱くなったことが心に蘇り、感謝の念に堪えません。

町に戻り生活を再開された方々、あるいは戻りたいという願いを持ちながらも町を離れた生活が続く方々が共に願う「希望」は、ふる里・広野町で震災前の生活を取り戻すことであり、昨年・平成26年末に、

『全町民の皆さま  
幸せな帰町・復興に向け  
ふる里にて共に歩みたいと願っております』

というメッセージを発信いたしました。

この願いをかなえていくために、本年1年間を“ふる里復興・再生「成長の年」”として位置づけ、希望に向けてまいった種が大きな実を結ぶように、一步一步着実に復興への歩みを進めてまいります。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」という吉田松陰の言葉がありますが、夢を持つことの大切さを忘れず、夢を持つことの大変さをかみしめ、けいおう かいらい継往開来、ふる里の歴史を守りつつ世界に誇るべき「ふる里・広野町」を創り出し、未来へ届けてまいりたいと存じます。

「為せば成る為さねば成らぬ何事も」の精神をもって全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年3月11日

広野町長 遠藤 智

# 目次

## I 広野町の状況

### 1 広野町の概要

- (1) 面積・人口
- (2) 町の位置・地勢
- (3) 原子力発電所からの距離

### 2 地震・津波による被害状況

### 3 避難所の概要

- (1) 一次避難
- (2) 二次避難
- (3) 三次避難

## II 震災からの経過

～3年間の歩み～

## III 「あのとき私たちは」

～30人の証言～

## IV 資料

- 1 義援金など
- 2 人的支援
- 3 物的支援
- 4 三郷市
- 5 伊東市

## V 写真で見る東日本大震災